

令和2年度の施策別事業実績と評価等(事業別)

表中「コロナ影響」は「新型コロナウイルス感染症対策の影響」の略です。

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
1	【重点事業】子どもを対象としたスポーツ事業の実施					
事業概要	①各体育館等において、子どもや親子が参加できるスポーツ事業(一般公開、教室・講習会、交流会など)を開催する。 ②「子どもサポートプラン」を実施し、区立プールを中学生以下の子どもに対して無料で開放をする。					
計画目標	拡充	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	①各体育館等 駒場体育館 12,190人、区民センター体育館 27,873人、碑文谷体育館 1,358人、中央体育館 6,059人 八雲体育館1,976人、宮前公園庭球場 100人、砧野球場・サッカー場 855名、五本木小学校屋内プール 6,868人、碑小学校屋内プール 9,494人、緑ヶ丘小学校屋内プール 11,157人 ②子どもサポートプラン 駒場体育館 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、区民センター体育館 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、五本木小学校屋内プール 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、碑小学校屋内プール 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、緑ヶ丘小学校屋内プール 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
評価の理由	・新型コロナウイルス感染症対策により、屋内及び屋外施設ともに利用休止となる期間が発生したため、予定していた一般公開、教室・講習会等が一部中止となった。しかし、利用再開後は、実施可能な事業については、参加人数を縮小する等感染防止対策を講じながら、可能な限り親子及び子どもが参加できる事業を実施した。 ・感染防止対策として利用人数を制限する中、利用希望者の増加につながる「子どもサポートプラン」については引き続き中止とした。					
課題など	コロナ禍においても区民が安心・安全かつ楽しめるスポーツ事業となるよう、感染症対策や事業内容について、引き続き関係団体と連携しながら検討を重ねていく必要がある。					

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
2	スポーツ観戦事業の実施					
事業概要	スポーツの感動や応援するきっかけとなるよう、トップアスリートの競技を観戦する。					
計画目標	新規	目標に対する評価	D:計画目標を達成していない	コロナ影響	有	
令和2年度実績	トップアスリート競技観戦事業観戦種目及び参加者数 ・ソフトテニス 0人(新型コロナ感染拡大防止のため中止)					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策により中止となったため					
課題など	コロナ禍においても区民が安心・安全且つ楽しめるスポーツ事業となるよう、関係団体と連携し感染症対策や事業内容について常時検討を重ねていく。					

		所属名	子育て支援課・児童館			
事業No.	事業名					
3	ティーンズフェスタインめぐろ					
事業概要	中高生の視点で文化的イベント・スポーツ的イベント等の企画、大人たちと世代を超えた交流を図り、中高生の社会参加と地域の活性化を図る。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	新型コロナウイルス感染症のため、事業を中止とした。					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策のため、従来の形でのティーンズフェスタは実施できなかったが、各児童館において、近隣中学校、高等学校と連携した事業を実施し、中高生の活躍の場を作った。					
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・集合型イベントではない事業形態の早期検討や新たなティーンズフェスタの仕組みを検討していく必要がある。 ・引き続き、各児童館において、中学校、高等学校と連携した事業について検討していく。 ・青少年を取り巻く関係所管と連携し中高生事業の活性化や中高生を取り巻く諸課題に的確に対応していく。 					

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

		所属名	学校運営課			
事業No.	事業名					
4	めぐろ元気あっぷ教室の実施					
事業概要	肥満や体力不足など健康に課題のある児童を対象とした運動教室をめぐろ学校サポートセンター・区内小学校等で年間3期に分けて実施する。学校において児童観察している学校健康トレーナーが主体となって、児童に合わせた運動プログラムや生活プログラムを提供する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・めぐろ元気あっぷ教室 会場:めぐろ学校サポートセンター、八雲小学校、碑小学校 参加者:第1期(動画配信:5回)、第2期 延べ471人、第3期(動画配信:5回) 実施数:11コース各15回 ・夏季水中運動教室(中止) 					
評価の理由	夏季水中運動教室は新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止としたが、めぐろ元気あっぷ教室は、教室のコース数を9コースから11コースに拡充するとともに、会場での実施と動画配信を合わせて各コース15回の実施数を確保できた。					
課題など	「めぐろ元気あっぷ教室」の参加者数はコースにより人数の偏りがある。					

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

		所属名	教育指導課			
事業No.	事業名					
5	東京駅伝開催に係る支援					
事業概要	東京都教育委員会主催の中学生「東京駅伝」大会に、目黒区の中学生を代表して出場し他区市の生徒と競い合うことで、生徒の競争力及び体力の向上を図りつつ、スポーツそのものや自らの体力について考える機会を設ける。					
計画目標	継続	目標に対する評価	D:計画目標を達成していない	コロナ影響	有	
令和2年度実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京都が事業を中止した。					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策のため、東京都が事業を中止した。令和2年度で事業終了の予定だったため、令和元年度の東京駅伝への支援をもって本事業は終了となった。					
課題など	特になし					

		所属名	教育指導課			
事業No.	事業名					
6	学校における体育活動の充実 ①めぐろ子どもスポーツ健康手帳等の作成・配付 ②体カテストの実施					
事業概要	①子どもを取り巻く社会・家庭環境の変化に伴う基本的な生活習慣の変化を意識しつつ、健康教育を進めていくことが求められる中、子ども自身が自分の健康状態や体力を認識し、目標をもった取り組みに資する教材・資料を提供する。 ②体育の時間や体育的行事を通じ、生涯にわたり運動に親しむ態度を育てるとともに、体カテストにより子どもの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努める。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	① ・令和元年度、体力向上推進委員会において作成した「めぐろ ここカラダシート」を全校・園で実施した。 ・体力向上推進委員会(年1回)を開催し、「めぐろ ここカラダシート」の活用状況等を確認し、令和3年度に向けて改定を行った。 ② ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、希望校のみ実施した。					
評価の理由	体カテストの実施については、新型コロナウイルス感染症対策として、小学校14校、中学校全校(9校)の実施であった。実施した学校については、体カテスト結果により、子どもの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努めることができたが、実施していない学校については、普段の体育科、保健体育科の授業から子どもの実態を把握した。					
課題など	全校統一した時期に実施することで、目黒区の子どもの体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握することにつながる。令和3年度は、全校が実施し、結果から課題等を分析する必要がある。					

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

		所属名	学校運営課			
事業No.	事業名					
7	運動部の部活動(小学校の特設クラブを含む。)における外部指導員等に係る支援の実施					
事業概要	児童・生徒が自らの適性や興味・関心を伸ばし、体力の向上やスポーツを愛好する心を育む機会となる部活動の一層の活性化のため、教育の指導を補完する外部指導員等の確保と有効活用による質の高い指導の充実を図るとともに、大会参加等の公費負担による支援を行う。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	部活動数(運動部のみ):小学校 3校3部、中学校9校68部 経費支出:試合参加児童・生徒旅費支出、試合参加費分担金支出、 外部指導員等謝礼支出、部活動合宿参加経費支出、 運動部指導員配置:部活動指導員9人、外部指導員53人 外部指導員全体研修会参加実績(運動部のみ) …春季、秋季ともに中止					
評価の理由	部活動指導員等、外部指導者の配置を希望する学校に対して、配置することができた。一方、外部指導者の質の向上を図ることを目的とした年2回の研修会については、新型コロナウイルス感染症対策により実施することができず、中止とした。なお、中学3年生にとっては最後の大会であった中学校体育連盟主催(以下、「中体連」という)の夏季大会が中止となったことを受け、中体連目黒支部が独自に開催した代替大会に対する支援を行った。					
課題など	外部指導者対象の研修会は座学のみならず、アクティビティを交え、知識、技術を習得する場としていたが、今後はオンライン配信やDVDの配布など映像を使った取組みも検討していく。また、合わせてオンデマンドで受講できる環境の構築や通信機器を持たない指導者の研修機会の確保なども併せて考えていく必要がある。					